

1. 評価結果概要表

作成日平成 19年 10月 12 E

【評価実施概要】

事業所番号	3470206115		
法人名	有限会社 ヤシロ企画		
事業所名	グループホーム ふじの里		
所在地 (電話番号)	広島市佐伯区藤の木2丁目27-5 (電 話) 082-927-3052		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成19年10月12日	評価確定日	平成19年10月18日

【情報提供票より】平成 19年9月30日

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 10 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 9 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	12.8 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	軽量鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000~52,000円	その他の経費(月額)	19,500 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000円	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要

利用者人数	15 名	男性 3 名	女性 12 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 86 歳	最低 64 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	黄内科医院・生協さえき・ほりえ歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅団地の中心部にあり、近くには、公民館、公園、小中学校など、環境に恵まれている。開設2年、まだ基礎づくりの段階ではあるが、代表者・管理者以下「安心して、地域に支えられた、家庭的雰囲気の中で暮らせるホーム」づくりを目指し、意欲的な取り組みがなされている。「一人ひとりの変化」に敏感に、朝のなにげない声かけを大切にする、真心のこもったケアが心がけられている。また、小中学生の見学や実習の受け入れや地域行事への参加など、地域との交流も深まり始めており、目標のホームに近づきつつある。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題は、①活動意欲を触発する物品の用意 ②入浴支援 ③口腔ケア ④注意を要する物品の管理 ⑤事故報告 ⑥家族への日常情報提供 ⑦周辺施設への協力依頼であった。改善が進んでいるのは、2~3項目であり、まだ改善が順調に進んでいるとは言いがたい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者中心の自己評価であり、全員参加の検討は行われていない。今後は、全職員を巻き込み、全員で検討し、問題点の掘り起こしを行った上で自己評価がなされるよう望みたい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	3ヶ月に一回、これまでに5回開催されている。会議は、ホーム側の状況説明や報告と質疑、地域行事などの議題が中心で、地域とのコミュニケーションを通じて、交流を深めることに努められている。今後は、2ヶ月に1回以上を目標に、これまでの議題に加え、ホームサービスの向上に活かせる議題も話せるよう、更に積極的な取り組みを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族への情報提供は、面会時のほか、病状などは随時行われているが、今後は、これに加え、簡単な手紙で、利用者の暮らしぶりや健康状況などを定期的に連絡する、月一回「定期便」の定着を望みたい。苦情などの吸収については、ホーム直接の他、区の保険課など第三者機関でも可能なように、契約書、重要事項説明書に明記され、ご家族などに徹底されるよう望みたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の清掃活動や行事にも積極的に参加し、近所の方々とも気軽に声を掛け合うよう努めている。また、地元の小中学生の見学や実習を受け入れ、利用者とも触れ合い、交流が深まるよう心がけている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念3項目をつくり、利用者が安心し、生きがいを持ち、地域に愛され、地域と共に暮らせるよう取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関やスタッフルームなど目の付きやすいところに掲示されている。日常のケア活動を通じ、事あるごとに話し合わせ職員間の共有化がはかられている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃活動や行事にも積極的に参加し、近所の方々とも気軽に声を掛け合うように努めている。また、地域の小中学生の見学や実習を受け入れ、利用者とも触れ合い、交流が深まるよう心がけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施することの意義は理解されているが、全体的に前回改善項目(7項目)の改善が順調に進んでいるとはいえない。取り組みも全職員の動きにつながない。	○	必要なら改善項目を絞り込み、全ホームを挙げた積極的な改善取り組みを期待したい。また、自己評価実施に当たっても、全職員を巻き込んだ検討を行った上でまとめる仕組みづくりを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1度、これまでに5回開催された。会議はホーム側からの現況説明や報告、それに対するメンバーからの質問、意見が中心である。まずは、地域とのコミュニケーションを通じ、交流を深めることに努めている。	○	2ヶ月に1回開催を目標に、他の成功例なども参考にしながらサービス向上に活かせる運営推進会議づくりへの更に積極的な取り組みを期待したい。

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の窓口には、報告・相談などできるだけ機会をつくるよう努力している。区主催の研修会などへは参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	できるだけ面談時に十分な情報提供ができるよう心がけている。利用者の病状については、必要なとき随時連絡、場合によってはご家族に同行してもらっている。	○	簡単な手紙などを書き、利用者個々の暮らしぶりや健康状況などを定期的に連絡するため、月一回程度「定期便」の定着が期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族などには、入居時にも良く説明され、その後も言いやすい雰囲気づくりに努められているが、区の保険課など苦情申し立て可能な第三者機関の明示がなされていない。	○	契約書、重要事項説明書などに、区の保険課など苦情申し立て可能な第三者機関を明示すると共に、ご家族などへの徹底を望みたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで特に問題を感じたケースはない。職員の退職があった場合などは、情報伝達に努めたり、言葉がけに注意を払い、ダメージを防ぐように努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	基礎研修や社外研修には積極的に参加するようにしているが、まだ、充分とはいえない。	○	職員の個々のレベルに応じて、必要な研修が、必要なタイミングで受けられるよう、「体系的なトレーニングの実施」を期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、西区のグループホームと交流を始めており、意見交換や勉強会につなげるべく取り組んでいる。		

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの雰囲気に馴染めるよう、入居時本人の生活歴や病歴をベースに関係者でよく話し合い、馴染める環境づくりを工夫している。本人やご家族による事前見学、管理者による家庭訪問なども行われている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護し、利用者は支援されると言う関係にとどまらず、あるときは家族、あるときは人生の先輩として、共に支えあう関係づくりに努めている。環境変化への対応力の低下した利用者へ配慮にも努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ入居時に、生活歴や希望・意向を掴むようにしている。その後も、本人やご家族の話を聞きながら意向の把握に努め、思いに沿ったケアができるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の一人ひとりがよりよい暮らしができるケアのあり方について、本人、ご家族、関係する職員で充分話し合い、それぞれのアイデアを出し合った上で作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	健康状況など急激な変化が生じた場合、関係者で話し合い、現状に即した新たな介護計画が策定されている。		順調な利用者についても、適宜計画の見直しが行われるよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族の状況に応じ、プライベートな外出、外泊、特別な受診のための送迎などは、可能な限り柔軟に対応し、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関には定期及び緊急時対応をお願いする一方、本人やご家族の希望があれば、納得が得られるかかりつけ医でも受診できるよう対応し、支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、ホームとして基本方針を決めて取り組んでいる。意思表示のあったご家族に関しては、協議を重ね、関連医療機関とも話し合い、個別の方針を決め職員全員で共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	誇りやプライバシーを損ねず、その人らしい生活ができるよう努めている。日々の記録など個人情報の取り扱いには注意を払い、スタッフルームの一定場所で一括管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切に、その日の体調も考慮しながら、その人らしい生活ができるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員、一緒に食事する中で、家庭的な雰囲気づくりと介助が行われている。また、一部の人には調理の手伝い、テーブル拭きや片付けを一緒にやっもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できるだけ本人の希望にあわせ、最低でも2日おきに入浴してもらうよう支援している。また、嫌がる人についてもいろいろ工夫しながら入浴してもらうよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力にあわせた掃除、後片付け、洗濯物のたたみなどをやっもらっている。楽しみごとでは、カラオケ、ゲーム、月行事など、利用者にとって少しでも役割が持てるよう場面づくりを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	夏場を除き近所の散歩に出かけている(夏は屋上)。できる人は職員と一緒に買い物、地域行事や清掃参加、年数回の季節行事などホームにこもらない生活が心がけられている。		特に重度者の外出機会を増やすため、一層の工夫を期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける弊害は理解されており、原則、日中は施錠されていない。やもう得ず施錠するときもあるが、ご家族には了解を得ている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のためのマニュアルは準備され、一部訓練も行われているが充分とはいえない。	○	最低でも年1回以上、利用者を含む全員による避難訓練の実施を期待したい。また、運営推進会議などを通じ、災害発生時の地域支援体制、緊急連絡網の整備など、万一の場合地域の人々の協力が得られる体制づくりも望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	社外業者に委託しており、栄養バランスとカロリーに配慮したメニューがつくられている。調理は職員が行い、一人ひとりの能力に合わせ調理も行われている。食事と水分の摂取量はおおよそ把握され記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く明るいリビングにはゆったりとしたソファとテレビが置かれ、食事と団欒に使われている。和室コーナーもあり憩いと洗濯物のたたみ場所として使われている。花を生けたり、利用者の写真を飾ったり、全体として、家庭的で、居心地良く過ごせるよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれ、好みの飾りつけもなされおり、それぞれにとって居心地良く過ごせる場所となっている。		

NPOインタッチサービス広島

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念の基づく運営				
1 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	地域の夏祭りに参加又公民館での催し等に参加しています	○	公民館での高齢者向けのサークル等に参加できたらいいと思います。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	日々、管理者の声掛けで理念に基づいた支援に努力しています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	運営推進委員会等を開催して協議を図っています。	○	連携を図る為に今後も協議を重ねて行きたいと思っています。
2 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	地域の清掃活動に参加して近隣の方とも気軽に声を掛け合っています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内活動には、積極的に参加しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地元の小中学校の生徒が実習に来て、入居者と触れ合いをして高齢者の暮らし方の見学をされています。 ヘルパーの実習も行っています。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価の実践は、試みています。職員への伝達は、報告書を備え付けていますが、今のところあまり生かされていない。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	取り組みなどは、報告して、地域とのコミュニケーションに現在力を入れて努力しています。	○	時間を掛けて地域の中でのホームになる様に、話し合いを重ねていく。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	報告事項や、相談、連絡は蜜にやっているとします。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の必要な方は現在はいないので、今後のために学習して、支援したいと思います。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の防止の学集會に参加し積極的に取り組んでいます。	○	職員の言葉などによる虐待に十分な認識を深めるため、研修會に参加する。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結に関する事項は、管理者が実施しています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	入居者のかたは、不満は、持っておられるようですが、話し合いでの解決に努めている。	○	外部者に相談できるような体制があれば検討したい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	必要に応じて家族には、報告しています。	○	新聞等を発行することを検討しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	出来るだけ話しやすいような雰囲気作りをしていますが、運営にまでもかかわるような課題は、現在とところ特にならない。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務に追われて、職員と運営者との意見交換や相談を取り入れ反映するべきである。	○	職員の不平不満を聞く意見交換の機会を設けて、ストレスの解消に取り組む。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟ではあるが、時間帯、職員の病気などにより人数不足が生じている。なかなか勤務表通りに、進まないのが現状です。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	該当 ナシ		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	支援方法や介護に日々研鑽して、現在は、職員の育成に努めている段階です。	○	会議を持ち共有化した認識を持ちたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	現在西区の施設と意見交換をしている。	○	現在西区の施設と意見交換をしている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	現在の課題である。	○	休憩時間の確保を明確にしていくように努力中。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	研修会等に参加した本人より朝礼時間を利用して発表している。	○	個人の介護レベルの問題があり、勉強会等を設けスキルアップを図る。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	利用前には、ご本人と会って本人から聞きだすように努力しています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談には、応じるように努めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容等をケアプラン等に反映しています。説明して捺印をもらっている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気除々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	面談の時に、関係者（医者・家族等）より、生活歴や病歴を確認して馴染まれるような環境作りや関係の構築に努めている。	○	馴染みの家具とか私物の持込なども出来るだけ持込を勧めている。

2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	関係の構築には努めているが、高齢になると環境の変化が生じる事が多々あるので研鑽が必要と思われます。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会の時は、入居者の近況報告や生活歴などを尋ねたりしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	面会や電話で関係を保っています。面会は自由に訪問して頂いています。本人が伝達しにくい部分があるため、日々あった事柄など報告しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や電話で関係を保っていますが、認知が進むにつれて関係作りは、困難になる様子である。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	健康に問題がない限り、居室だけの生活ではなく、リビングでの団欒を勧めていますのでお互いに生活暦等を話したりされて、孤立はない様子。	○	利用者のレベルの違いから起こるトラブルを防ぐ対策として、居室の変更、食卓の位置の変更にも考慮しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	必要があれば、対応に努めている。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント </div>				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者間のレベルの違いによるトラブルを居室の変更、食卓の位置の変更に苦慮している。	○	ストレス解消対策として屋上へ誘導して自然の空気を体感してもらう。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所の際の面談で生活暦やサービス利用の経過については、本人や家族の意向を聞き今後の暮らしの中に取り入れています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	把握して個別のケアプランに取り込んでいます。本人の意思表示が難しい人などは、バイタルチェック、顔色表情など観察には特に気をつけています。	○	認知の進んだ人などは特に観察に心がける。
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画を作成している	○	カンファレンス会議を行い職員間の意見、見直し日々の観察を基に細かい介護計画を考える。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	その都度計画の変更は行っているが、各介護職の工夫でなかなか統一した支援が出来ない。	○	共通の介護計画。介護者の意見の取り入れをする。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の日誌を見直し要約としてまとめています。	○	見直し要約を活かせるよう全体の協力体制を築く。
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	施設の経験年数を満たした時点で取り組む予定。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域に出きる限り出向いて活かされる協力をお願いしています。地域での公園、に散歩などによる自然豊かな環境を充分に取り入れています。	○	ボランティアの活用を検討中
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	活用支援は特にしていません。	○	積極的に考えたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	活用支援は特にしていません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	継続的な構築を築きたい。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	継続的な構築を築きながら。専門医と連携をとり治療をお願いしている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	継続的な構築を築きたいが、ケア会議がないので、診察や治療で終わり、支援には生かされていない。	○	9月より実施

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	連携は行なっています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	家族と協議しながら、医療機関と連携を保っています。	○	今後課題は多いと思うが、医療機関並びに家族との、話し合いながら支援に取り組む。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族と協議しながら、医療機関と支援に取り組んでいます。	○	家族と協議しながら、24 時間対応の医療機関と支援に取り組んでいます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。	本人や家族と相談しながら環境変化のショックを少なくするよう心がけている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	プライバシーの確保には充分気をつけている。	○	朝礼にて職員に理解を深める。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	話し合いをしながら。本人の希望をかなえるよう支援をしている。	○	支援についてカンファレンスを実施する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調に応じて、出来る限り、希望に沿うよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	心がけています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	介護度が高いので困難である。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	安全面を考えてタバコについては、契約時に説明をしてご遠慮して頂いています。その他の嗜好品については、楽しまれています。糖尿病の方に関しては、カロリー等気をつけながら支援しています。	○	糖尿病の方のカロリーを配慮しながら支援する。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の記録が、なかなか支援につながってはいない。	○	個別的な対応に心がけたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	最低2日間置きに入浴をしている。出来る限り本人に尋ね希望に沿うよう支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	就寝時間は、あまりこだわらずにご本人任せにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	カラオケ、ゲーム等はしているが、散歩など特にこの夏猛暑のため実施していない。(屋上への散歩がほとんど)	○	夏季を除き利用者の体調や天候状態により4~6人位で外の散歩をする。夏季は館内や屋上の散歩をする。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の所持は禁止しています。(契約締結時に説明あり)	○	ストレスがたまらないよう外出時に、家族了解済み利用者に限りお金を渡して使えるようにしている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望に、そって、戸外に出かけられるよう支援している。	個人1人ひとりでは困難であるため、4~6人夏場を除き健康状態や気候により散歩を行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	家族の希望者に限り外出は自由です。介護職付き添いの外出は困難ですが年2~3回のバス旅行を予定している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人のご希望があれば出来る限り電話は対応しています。又、遠くの家族には手紙が無理なら FAX にて連絡をお願いしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	快く受け入れています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」取り留めて、学習会はやっていないが、専門職としての認識の基で支援しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	安全面から夜間及び早朝に玄関の施錠いる。利用者の不安行動のとき施錠することも有る。	○	基本的には施錠はしない方向に努力しています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーについては、特に入居者からの要望はないが、認知症による利用者間のトラブルが時々ある。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	色々と工夫はしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒・窒息・行方不明等は、特に一人ひとりの動き状態を観察して事故防止には特に気をつけています。誤薬は、看護師の指導の下で事故防止取り組んでいます。	○	誤訳については9月より看護師が指導する。
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	定期的な訓練はないが、介護職の知識の中でやっている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害対策として、マニュアル表示しています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	その都度、家族には相談しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝、バイタルチェックをして、特に要観察の方については、申し送りの時に情報を共有化しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の処方書を基に家族の思いを相談しながら個人こじんの健康状態に即した服薬支援を行っている。	○	家族と相談しながら利用者の病状に即した病院を決める。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	運動の働きかけや水分の摂取や便通の良い食事を考慮しています。	○	食事介助で繊維質の野菜類を勧める。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔ケアは、食後にやっています。	○	口腔ケアのスキルアップの研修会への参加を実施する。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べられる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	福祉食の宅配を受けているためにカロリーは、考えている。水分等は、排尿によって確認しています。個々食べられる量、病気等は、調整しています。	○	個別に水分の飲量を確認を出来るように工夫をしたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防には努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は、冷蔵庫にて保管、残飯等は、残飯処理機にてその都度、処理しています。		
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	花壇を造り美化には努め、駐車禁止の提示をしたりして出来るだけ、地域に迷惑をかけないようにしています。	○	近隣者の要望などは、速やかに取り組んでいます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を玄関やリビングにいけたり、浴室や厨房の空間には、のれんをかけたたりして工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間には、テレビやソファを置き、廊下には、ベンチを配置しています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具を持ち込んだり、環境衛生に努めています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気扇、空気清浄機又、エアコンにて体調管理は、配慮しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレなども広く配慮している。尚 バリアーフリー等も設置しています。	○	転倒防止の為床材に合った滑りにくい靴を家族に相談して変更してもらっている。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	視覚でも理解できるように張り紙、写真等で工夫をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	屋上にて、歩行訓練をしたり、外気浴をしたり、家庭菜園等も心がけています。	○	今後屋上菜園の活用をより活かす。

V サービスの成果に関する項目

一階

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいの ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいの ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	全員の方の思い・意向等をつかむよう努力はしています
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① <input type="radio"/> 毎日ある ② <input type="radio"/> 数日に1回程度ある ③ <input type="radio"/> たまにある ④ <input type="radio"/> ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念の基づく運営				
1 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	地域の夏祭りに参加又公民館での催し等に参加しています	○	公民館での高齢者向けのサークル等に参加できたらいいと思います。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	日々、管理者の声掛けで理念に基づいた支援に努力しています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	運営推進委員会等を開催して協議を図っています。	○	連携を図る為に今後も協議を重ねて行きたいと思っています。
2 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	地域の清掃活動に参加して近隣の方とも気軽に声を掛け合っています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内活動には、積極的に参加しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地元の小中学校の生徒が実習に来て、入居者と触れ合いをして高齢者の暮らし方の見学をされています。 ヘルパーの実習も行っています。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価の実践は、試みています。職員への伝達は、報告書を備え付けていますが、今のところあまり生かされていない。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	取り組みなどは、報告して、地域とのコミュニケーションに現在力を入れて努力しています。	○	時間を掛けて地域の中でのホームになる様に、話し合いを重ねていく。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	報告事項や、相談、連絡は蜜にやっているといます。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の必要な方は、現在は、いないので、今後のために、学習して、支援したいと思います。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の防止の学集會に参加し積極的に取り組んでいます。	○	職員の言葉などによる虐待に十分な認識を深めるため、研修會に参加する。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結に関する事項は、管理者が実施しています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	入居者のかたは、不満は、持っておられるようですが、話し合いでの解決に努めている。	○	外部者に相談できるような体制があれば検討したい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	必要に応じて家族には、報告しています。	○	新聞等を発行することを検討しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	出来るだけ話しやすいような雰囲気作りをしていますが、運営にまでもかかわるような課題は、現在とところ特でない。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務に追われて、職員と運営者との意見交換や相談を取り入れ反映するべきである。	○	職員の不平不満を聞く意見交換の機会を設けて、ストレスの解消に取り組む。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟ではあるが、時間帯、職員の病気などにより人数不足が生じている。なかなか勤務表通りに、進まないのが現状です。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	該当 ナシ		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	支援方法や介護に日々研鑽して、現在は、職員の育成に努めている段階です。	○	会議を持ち共有化した認識を持ちたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	現在西区の施設と相談や意見交換をしている。	○	西区の施設と相談や意見交換をしている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	現在の課題である。	○	休憩時間の確保を明確にしていくように努力中。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	研修会等に参加した本人より朝礼時間を利用して発表している。	○	個人の介護レベルの問題があり、勉強会等を設けスキルアップを図る。
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	利用前には、ご本人と会って本人から聞きだすように努力しています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談には、応じるように努めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容等をケアプランに反映している。説明をして捺印をもらっています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	面談の時に、関係者（医者・家族等）より、生活歴や病歴を確認して馴染まれるような環境作りや関係の構築に努めている。	○	馴染みの家具とか私物の持込なども出来るだけ持込を勧めている。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	関係の構築には努めているが、高齢になると環境の変化が生じる事が多々あるので研鑽が必要と思われます。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会の時は、入居者の近況報告や生活歴などを尋ねたりしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	面会や電話で関係を保っています。面会は自由に訪問して頂いています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や電話で関係を保っていますが、認知が進むにつれて関係作りは、困難になる様子である。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	健康に問題がない限り、居室だけの生活ではなく、リビングでの団欒を勧めていますのでお互いに生活暦等を話したりされて、孤立はない様子。	○	利用者のレベルの違いから起こるトラブルを防ぐ対策として、居室の変更、食卓の位置の変更にも考慮しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	必要があれば、対応に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者間のレベルの違いによるトラブルを居室の変更、食卓の位置の変更に苦慮している。	○	ストレス解消対策として屋上へ誘導し自然の空気を体感してもらう。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所の際の面談で生活暦やサービス利用の経過については、本人や家族の意向を聞き今後の暮らしの中に取り入れています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	把握して個別のケアプランに取り込んでいます。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画を作成している	○	カンファレンス会議を行い職員間の意見、見直し日々の観察を基に細かい介護計画を考える。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	その都度計画の変更は行っているが、各介護職の工夫でなかなか統一した支援が出来ない。	○	共通の介護計画。介護者の意見の取り入れをする。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の日誌を見直し要約としてまとめています。	○	見直し要約を活かせるよう全体の協力体制を築く。
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	施設の経験年数を満たした時点で取り組む予定。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域に出きる限りで向いて活かされる協力をお願いしています。地域での公園、に散歩などによる自然豊かな環境を充分に取り入れています。		ボランティアの活用を検討中
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	活用支援は特にしていません。	○	積極的に考えたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	活用支援は特にしていません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	継続的な構築を築きたい。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	継続的な構築を築きながら。専門医と連携をとり治療をお願いしている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	継続的な構築を築きたいが、ケア会議がないので、診察や治療で終わり、支援には生かされていない。		9月より実施する。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	連携は行なっています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	家族と協議しながら、医療機関と連携を保っています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族と協議しながら、医療機関と支援に取り組んでいます。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。	本人や家族と相談しながら環境変化のショックを少なくするよう心がけている。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 </div>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	プライバシーの確保には充分気をつけている。		朝礼にて職員に理解を深める。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	話し合いをしながら、本人の希望をかなえるよう支援をしている。	○	支援についてカンファレンスを実施する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調に応じて、出来る限り、希望に沿うよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	心がけています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事に対する支援は、本人のいきり限りしていただいている。	○	介護度の高い利用者が多い為に食事の準備までの参加は困難であるが、出来るかぎりテーブル拭き等をお願いしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	安全面を考えてタバコについては、契約時に説明をしてご遠慮して頂いています。その他の嗜好品については、楽しまれているようだ。	○	糖尿病の方のカロリーを配慮しながら支援する。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の記録にとどまり、それが支援につながってはいない。	○	個別的な対応に心がけたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	最低2日間置きに入浴をしている。出来る限り本人に尋ね希望に沿うよう支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	就寝時間は、あまりこだわらずにご本人任せにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	カラオケ、ゲーム等はしているが、散歩など特にこの夏猛暑のため実施していない。(屋上への散歩がほとんど)	○	夏季を除き利用者の体調や天候状態により4～6人位で外を散歩をする。夏季は館内や屋上の散歩をする。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の所持は禁止しています。(契約締結時に説明あり)	○	ストレスがたまらないよう外出時に、家族了解済み利用者に限りお金を渡して使えるようにしている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	個人1人ひとりでは困難であるため、4～6人夏場を除き健康状態や気候により散歩を行っている。	○	買い物の出来る方は職員と共に行っています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	家族の希望者に限り外出は自由です。介護職付き添いの外出は困難ですが年2～3回のバス旅行を予定している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人のご希望があれば出来る限り電話は対応しています。又、遠くの家族には手紙が無理なら FAX にて連絡をお願いしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	快く受け入れています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」取り留めて、学習会はやっていないが、専門職としての認識の基で支援しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	安全面から夜間及び早朝に玄関の施錠いる。利用者の不安行動のとき施錠することも有る。	○	基本的には施錠はしない方向に努力しています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーについては、特に入居者からの要望はないが、認知症による利用者間のトラブルが時々ある。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	色々と工夫はしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	誤薬についての認識がないので学習をしていきたいと思 います。	○	誤薬については9月より看護師が指導する。
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初 期対応の訓練を定期期に行っている。	定期的な訓練はないが、介護職の知識の中でやっている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難でき る方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう 働きかけている。	災害対策として、マニュアル表示しています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧 感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	その都度、家族には相談しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には 速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝、バイタルチェックをして、特に要観察の方につい ては、申し送りの時に情報を共有化しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や 用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている。	医師の処方に基づき家族の思いを相談しながら個人こじん の健康状態に即した服薬支援を行っている。	○	家族と相談しながら利用者の病状に即した病院を 決める。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	運動の働きかけや水分の摂取や便通の良い食事を考慮しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔ケアは、食後にやっています。	○	口腔ケアのスキルアップの研修会への参加を実施する。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	福祉食の宅配を受けているためにカロリーは、考えているが、水分等は、排尿によって確認しています。	○	個別に水分の飲量を確認を出来るように工夫をしたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防には努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は、冷蔵庫にて保管、残飯等は、残飯処理機にてその都度、処理しています。		
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	花壇を造り美化には努め、駐車禁止の提示をしたりして出来るだけ、地域に迷惑をかけないようにしています。	○	近隣者の要望などは、速やかに取り組んでいます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を玄関やリビングにいけたり、浴室や厨房の空間には、のれんをかけたたりして工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間には、テレビやソファを置き、廊下には、ベンチを配置しています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具を持ち込んだり、環境衛生に努めています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気扇、空気清浄機又、エアコンにて体調管理は、配慮しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレなども広く配慮している。尚 バリアーフリー等も設置しています。	○	転倒防止の為床材に合った滑りにくい靴を家族に相談して変更してもらっている。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	視覚でも理解できるように張り紙、写真等で工夫をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	屋上にて、歩行訓練をしたり、外気浴をしたり、家庭菜園等も心がけています。	○	今後屋上菜園の活用をより活かす。

V サービスの成果に関する項目

二階

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいの ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいの ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	全員の思い聞くよう努力しています
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① <input type="radio"/> 毎日ある ② <input type="radio"/> 数日に1回程度ある ③ <input type="radio"/> たまにある ④ <input type="radio"/> ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目